

Mazda  
ZOOM-ZOOM  
スタジアム広島



比治山生のその先をセンパイに聞く!

# HIJIYAMA TALK

短期大学部 美術科 卒業生の声

学生時代に表現力を磨き、  
グラフィックデザイナーとして  
働く卒業生のもとへ、  
在学生が話を聞きに行きました。

## 卒業生



光嶋 佑紀さん  
'19年卒

○広島県立安古市高等学校出身  
株式会社 広島東洋カープ入社。グッズデザイン  
やホームページバナー制作などを担当する。

## 在学生



井上 遥菜さん  
2年※

○広島県立神辺高等学校出身  
工芸コースを選択。グッズデザインを行うグ  
ラフィックデザイナーを進路として検討中。

※取材当時の学年です

<井上> ものづくり全般に興味があり、高校の美術の先生に紹介してもらったことがきっかけで入学しました。今は工芸コースで学んでいますが、グラフィックデザイナーとしての進路を考えています。光嶋さんはいかがでしたか？

<光嶋> 私は幼い頃から絵を描くことが好きで、地元の広島で美術を学べる学校へ進学したくてこの学科に入りました。現在は広島東洋カープでグッズのデザイン、ホームページのバナー制作やビジョンの画像制作を担当しています。学生時代は洋画コースを選択し、就職活動はもともとデザイナーに興味があったのでグラフィック分野をメインに進めていきました。

<井上> 就活はどのように行いましたか？

<光嶋> まずは1年生の夏休み明けごろから学内の就活関連のプログラムに参加して、その後は学内での企業説明会、マイナビやリクナビなどが行う合同説明会に参加していきまし

た。キャリアセンターや就活支援プログラムは私にとって大きな力になったので、積極的に活用することをおすすめします。

<井上> 説明会ではいろんな企業を見られたと思いますが、何社くらい受けましたか？

<光嶋> 私はけっこう少なくて3社ですね。そのすべてがデザインに関わる業務内容ではなかったのですが、結果的に今はグラフィックができていたので良かったなと思います。



就活前からできる、  
準備しておくべきことは  
ありますか？

<井上> グラフィックに絞って就活する場合、事前に準備できることは何かありますか？



<光嶋> ポートフォリオの制作は、とにかく早めに取り掛かっておいた方が良いと思う！ 実は、私は面接の前日に慌てて作ってしまった経験があるんです。就活が始まるころにはある程度作っておくと安心だと思います。イラストレーターの授業で少しでもポートフォリオ制作の内容があるし、先生にも教えてもらえますよ。作品は時系列に並べた方が良いので、作品は完成したらすぐに日付順にまとめていくと後で困らないと思います。

<井上> さっそく今から取り掛かります...！ ポートフォリオの制作以外にも、何か用意しておくことはあるでしょうか？

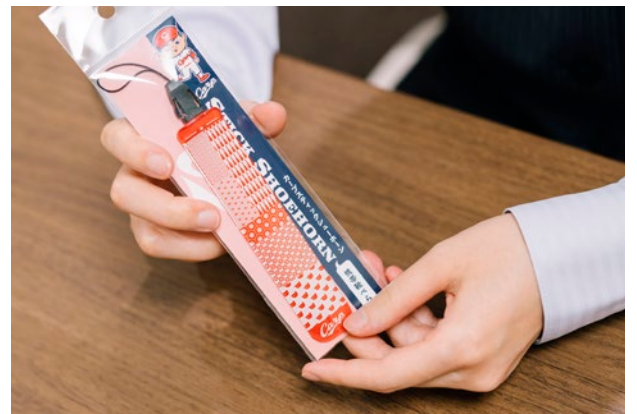
<光嶋> 私は学内の資格取得対策講座を受講して、色彩検定を取得しました。自分の作品づくりに活かせるだけでなく、就活でも履歴書に書くことができたり将来の仕事にも生かせると思うので、美術関係の仕事を目指すならぜひ対策支援講座を活用してほしいです。あと、短大は就活期間が短くてインターンシップに参加する時間が取れなかったなので、私はボランティア活動をしました。そのうちの1つではアニメーションを作るソフトを知ることが出来て、自分の知識を深めることにもつながりましたね。

<井上> 授業だけでなく、さまざまに知識や経験を積んでいくことが大切なんですね。光嶋さんは今グッズデザインなどのお仕事をされていますが、やりがいはほんなところに感じますか？



使う人をちゃんと想定した  
デザインの大切さに、  
改めて気づきました。

<光嶋> 自分が手掛けたデザインがちゃんと製品化されているのを見た時は、やっぱり喜びが大きいですね。公式グッズの中で靴べらを担当した時は、いろんな案を出した中で最終的に、昔ながらの和柄と野球のアイテムを組み合わせたデザインが採用となりました。デザインをするうえでは自分が面白いと思ったことを形にするのが大事だと常々思っていて、アイデアのストックも自分なりにたくさんしてきたのですが、今回の靴べらの制作を通して使う人をちゃんと想定したデザ



実際にデザインを担当した、さまざまな和柄の中の線をバットやボールで表現した靴べら。商品名は「カーブスティックシューホーン」。



イラストレーターの使い方の基礎を学生時代に学んでいたことは、入社してからの大きな自信に。Tシャツなどさまざまなデザインを担当しています。

インをすることの大切さを改めて感じました。商品の特性上ある程度男性向けという前提があったけど、男女兼用のようなデザインになったんですよ。完成までに時間もかかったし、まだまだ力不足だなと思う部分も多かったです。求められていることへの理解をもっと深めていきたいなと、今後の課題も見えました。

<井上> グッズデザインの仕事に興味があるので、実体験を聞けるのは勉強になります。私はカーブグッズをいくつか持っていますが、中でも記念Tシャツは毎回楽しみにしています。光嶋さんはデザインされたことはありますか？

<光嶋> 私はサヨナラTシャツを担当したことがあります。先に使用する写真が決まるので、その写真をベースに先輩が担当される全体デザインをもとに私が筆文字を書いたりと、一部分を担当しました。

<井上> 私が持っているTシャツの中にも、光嶋さんが担当されたものがあるかもしれないですね！今グラフィックデザイナーとして働いて、在学中に勉強しておいて良かったなと改めて感じるのはどんなことでしょうか？

<光嶋> イラストレーターの使い方の基礎を在学中に学べてよかったです。授業で学んだことに加えて個人的に趣味としてグラフィックをやっていたこともあり、社会人をスムーズにスタートできたかと思います。趣味でグラフィックデザインをやっていた分、自身の表現の幅を広げたいと思って短大では洋画コースを選択しました。コースにとらわれず広く学んで、自分の豊かな表現を身につけたり就活に活かして欲しいなと思います。

<井上> ありがとうございます。頑張ります！